耳をすます

音を聞き、この何でもないことを、あらためて考えた。

音を聞くことはあたりまえのことで、それをさら考えたところは何になるのか、という人
事に考えたわけではないが、音を一つ一つ考えた。だから、たとえば好きな音嫌いな音が
あるのはなぜなのか、それを知ることができれば、自分や周りのできることについて、より良く
わかってくるかもしれない。耳が自由な人の

茨城キリスト教大学」、れが一
いこどことが詳し。

心の世はつこ予の界
にたった音だっ
り落書きだったいけど、安心する音が
しかったからいろいろしたりすると、安心でき
ない音。そんなふうに分かったもろいね。

世界という言葉がある。音にも世界がある。

その中で、音の感じ方を楽しむ音が聞かれ
た音では、音楽の世界に入れる音が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか、人が集ま
りた音の大きさがあるのか。自然が生
別音が聞くことができない音もあつい。

耳をすませば、聞きたくて音の世界に入り、

やさしい気持ちで現実に戻ることができたらす